

南区 地域情報発信 インタビュー

南区の宝となるモノや話題、地域で活躍している方をピックアップ!

「月潟の手打鎌」

小林誠さんにインタビュー

月潟の手打鎌は、江戸時代の刀鍛冶から始まったと言われています。

200年の伝統の中、最盛期は50軒程でしたが、今は5軒に減ってしまいました。

月潟鎌組合長の小林誠さんにうかがいました。



鎌を鍛造しているところ



用途によって様々な種類があります。月潟農村環境改善センター内の郷土物産資料室にも展示されています。

Q 月潟の手打鎌の特徴は。

A はがねづ 鋼付けをして、水焼入れをする工程作業が代々受け継がれています。切れ味と耐久性は抜群です。

Q おもにどのような方々から需要がありますか。

A 研ぎながら長く使っていただける人。おもに中山間地の作業に使われます。県内はもちろん、関東地方、東北地方に需要が多くあります。「使いやすくて良く切れるし、草刈りが楽しくなる」などと言われるのが一番うれしいです。

月潟鎌組合の問い合わせ先
月潟商工会内 ☎025 (375) 2405

Q 地域住民の皆様のために包丁などの刃物研ぎを行っているそうですね。

A 月潟地域文化祭で無料刃研ぎを行い、チャリティーボックスを設けて、社会福祉協議会に寄付しています。また、南区内、商工会、地域イベント等に要請があればできるだけPRに出掛けています。

Q 伝統を受け継ぐ産業の担い手として想いをお聞かせください。

A 除草剤が出回り始めてからは、鎌の需要も激減していますが、これからも伝統の切れ味は守りながら、時代に合った鎌を造っていきたくと思っています。使いやすくて良く切れる鎌を追及しつづけ、生涯現役でいたいですね。

「子育てオーエンジャー☆みなみ」

新田幹子さんにインタビュー

南区では子育て応援事業として、身近な地域で子育て中のママを支援する子育て支援リーダーを育成しています。〈子育てオーエンジャー☆みなみ〉は子育て支援リーダーの愛称です。現在14名が活動しています。

その1人、新田幹子さんにうかがいました。



子育て支援リーダーによる手遊び

Q どういう方が支援リーダーになっているのですか。

A 子育てを一段落して、今度は自分の経験やできることを生かして、今がんばっているママ達を応援したいという人達です。

Q どんな活動をしていますか。

A 南区内の児童館や子育て支援センターなどを会場にして「子育て広場」をひらいています。内容は様々ですが、たとえば読み聞かせや手遊び、マッサージ、ヨガ、ピアノ演奏なども企画しました。支援リーダーが赤ちゃんをあやしたりして、お母さんがリラックスできる時間を大切にしています。たくさんおしゃべりをして気分転換をしてほしいです。よそからお嫁に来て心細い思いをしている人もいます。気軽に「子育て広場」に参加してママ友ができるといいですね。

Q これからどんな活動をしたいですか。

A 小学校の教室で休み時間を利用して「子育て広場」をひらいたときには、未就園児のママが早めに小学校の様子を知ることができましたし、また小学生と一緒に加わって楽しむことができました。どちらにも良い効果があったと思います。これから年配の方々にもご協力いただいて、多世代で交流できる出会いの場として広がってほしいと思います。

子育てオーエンジャー☆みなみ
「子育て広場」の問い合わせ先
南区健康福祉課 ☎025 (372) 6371



ママさんたちの気軽な交流の場にもなっています